

坂中地域振興会

平成17年1月25日発行

第3号

坂中地域振興会広報編集委員会

迎春



平成十七年の新春を迎えて

折口柳 莊

明けましておめでとうございます。皆様には、ご健勝にて新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、相次ぐ台風の影響・新潟地震、国外に目を転ずれば果てしない中東戦争、スマトラ沖地震・インド洋津波等々、正に内憂外患の年でありました。

新年を迎え、今年こそ災害や争いのない良い年になりますよう願っています。

さて、私達の地域振興会は、皆様方のご支援のおかげで、ご存じのとおり幾多の事業を実施してまいりました。

地域住民のふれあいを深める事は勿論ですが、地域の生活を向上するため、施設・設備の充実も重要な課題であり積極的に行政交渉を行っております。

昨年末には十六区横川橋交差点に水銀街路灯を設置していただきました。

今年度中、今後の事業としては、史跡めぐり、竹箒づくり、市道山田・東林寺線遊休広場整備(運動広場)等がありますのでよろしく願います。

おわりに、人輝く安芸高田市、誇りをもって住める地域づくりをめざし、連帯に基づき積極的なご支援を衷心よりお願い申し上げます。

総合計画策定に係る

審議会委員について

安芸高田市では、合併後初の第一次総合計画が策定されますが、これに対する市長の諮問機関として「総合計画審議会」が設置されることになっております。この審議会へ市民の声を反映するため、自治振興組織の代表も参加することになっており、向原町地域振興会を代表して次の方が委員になられました。

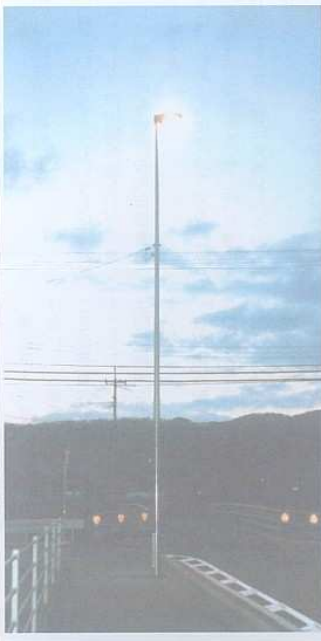
佐々木 博 (向井原地域振興会 会長)
山本みゆき (坂上地域振興会 部長)

活動日誌

- 十月三十日 リーダー育成研修 高宮町一名
- 十一月八日 グランドゴルフ大会(参加者四十二名)
- 十一月十七日 自主防災組織リーダー研修会(広島市一名)
- 十二月三日 地域貢献シンポジウム(高宮町一名)
- 一月十日 振興会連絡協議会(会長)

横川橋に街路灯設置

このたび、十六区横川橋東側に水銀街路灯が設置されました。現地は四差路で道路形状から特に夜間は交通事故が心配される箇所のため、地域振興会では街路灯の設置を市へ要望していたものです。旧町時代には、一般町道へ町負担で街路灯を設置した例はほとんどないそうですが、今回は市の方でも必要性を理解していただき要望が実現しました。





ランドゴルフ大会

十一月六日(土)午後向原小学校グラウンドにおいて、ふれあいサロンから引き継いだ親善ランドゴルフ大会を開催しました。天候にも恵まれ四十一名の参加者が熱戦を繰り広げました。上位成績者は次のとおりです。

- | | |
|-----|-------|
| 優勝 | 大前明夫 |
| 準優勝 | 望月康生 |
| 三位 | 小野宣子 |
| 四位 | 高橋義照 |
| 五位 | 重見昇 |
| 六位 | 中川富貴子 |
| 七位 | 徳武久且 |

《防災は地域の協力で》

新潟地震の記憶も生々しいうちに、昨年末にはスマトラ沖地震が発生し、大津波がインド洋沿岸各地に甚大な被害をもたらしました。

「天災は忘れたころにやってくる。」(寺田寅彦)という名言もあるように、私達はいつ、どのような災害に見舞われるかわかりません。

しかし、日頃私達は自分自身が地震や水害などの大災害に遭遇するとはほとんど考えておらず、それだけに防災への《意識》も《備え》も十分でないのが実情ではないでしょうか。

平成七年一月に発生した阪神・淡路大震災での調査によれば、生き埋めや建物等に閉じこめられた人のうち、救助された約95%は自力または家族や隣人によって救助され、専門の救助隊に助けられたのは、わずかに1.1%に止まっています。

このことから、消防等の公的機関が、発災直後に多数の被災者に対し、迅速に対応することは非常に困難であり、発災直後の人命救助や初期消火は近隣の住民に負うところが大きいことがわかります。

発災直後には、地域住民が相互に助け合い、人命救助や初期消火に努めることが被害の軽減に大きな役割を果たすことから、近年、住民参加による「自主防災組織」の結成が推進されています。

坂中地域振興会においても、自主防災組織の結成を検討しておりますが、当面は運営委員会の中に防災担当組織を設置して防災意識の高揚や知識の普及、実態調査、連絡体制の確立等を実施していきたいと考えております。



とんど風景 (16区)